

2021年度 分野別計画進捗等報告書

体系番号
05010107

1. 計画名称

茅野市住生活基本計画

2. 計画全体の進捗状況及び総合評価

進捗評価	おおむね順調	説明	GHVの販売が好調であること、当初計画の空家施策を着実に実行していることから、概ね順調とした。
今後の重点化施策番号	1	説明	住宅の耐震化率90%の達成に向けて、旧耐震基準の住宅所有者に向けて、説明会、広報誌、ピーナチャンネル、庁舎ロビー展、パンフレットの配布等の取り込みを継続して行う。

3. 各施策等における評価内容と改革改善

区分	施策名称	進捗評価	総合評価		改革改善の具体的内容
			主な取組内容や成果	課題	
1	安心でやさしい住まいづくり	おおむね順調	<p>【耐震】</p> <ul style="list-style-type: none"> 耐震診断、耐震改修申請に対する補助。 耐震についての啓発：広報ちの・ピーナチャンネルでの周知、ロビー展、ちの地区防災訓練での広報、耐震診断実施者に電話連絡により耐震改修の必要性や助成制度について説明 	<p>【耐震】</p> <ul style="list-style-type: none"> より効果的な周知・啓発 区・自治会レベルでの集落懇談会実施 コロナ禍における新たな周知方法の模索(感染予防のため効果的な会議が開催できないため) 	<p>【耐震】</p> <ul style="list-style-type: none"> 耐震対象者に対し、直接電話連絡により耐震改修の必要性について説明。 ちの・宮川・金沢地区を重点地区とし、集落懇談会の実施を個別に区に働きかける。
2	良質な居住環境を維持できる住まいづくり	順調	<ul style="list-style-type: none"> 令和2年10月から移住推進庁内連絡会議発足により、幅広く販売促進に向けた検討を進めた。 コロナ禍の全国的な移住の高まりの流れを取り込むべく効果的な広告 →41区画売却 リフォーム補助交付件数98件 	<ul style="list-style-type: none"> GHVの販売促進 リフォーム補助制度の必要性を検討 	<ul style="list-style-type: none"> GHV販売促進は庁内会議での意見に加え、宅建協会や地元自治会など、庁外諸団体の意見を参考にしながら、より効果的な販売方法を模索する。 リフォーム補助制度は毎年申請が多く、年度の早い段階で予算を消化していることから、補助制度の在り方を検討する。
3	ライフスタイルに対応できる住まいづくり	おおむね順調	<ul style="list-style-type: none"> 空家等対策計画策定後初の協議会開催 →今後の取組の方向性を確認した。 特定空家認定候補抽出 →代執行を視野に入れた取り組みに着手できた。 相続人不存在案件について、財産管理人選任の道筋をつくった。 別荘については未着手 	<ul style="list-style-type: none"> 空家対策協議会を実効性のある協議体にする。 特定空家認定～代執行までの手続きの実施。 空き家相談体制の整備 市内空き家の状況・予測見える化(R4からシステム導入済み) 別荘の実態把握 	<ul style="list-style-type: none"> 市内空き家の状況を見える化するため、空家システムを導入。令和4年度市内の空き家状況調査費を予算計上済み。市内空家の状況を正確に把握し、対策を講じていく。
4	安定した暮らしを確保できる住まいづくり	おおむね順調	<ul style="list-style-type: none"> 市営住宅を利用する生活弱者について福祉部局との連携による住宅確保要配慮の入居対応 	<ul style="list-style-type: none"> 新たな住宅セーフティネット制度による民間ストックの活用検討 既存施設の計画的な改修 経年による老朽化した施設の在り方について 	<ul style="list-style-type: none"> 庁内支援会議や福祉、社協と情報を共有する中で、対応方針を決めており、引き続き連携しながら進めていく。 県との共同建替え事業について本格的に検討を進めていく。
5					

※5つ以上の場合は裏面へ

4. 関連市民団体等の主な意見及び対応のポイント

		主な意見	市の考えや対応など
関連市民団体等名称			
開催回数			
参加延べ人数			
関連市民団体等名称			
開催回数			
参加延べ人数			
関連市民団体等名称			
開催回数			
参加延べ人数			

5. 添付資料

別紙「施策評価シート」